

2023年

10月29日（日）

10:00

START

旧上庄小レジデンス  
プログラム2023

トークイベント

# 「芸術家」って、どんな人？ 地域と芸術って関係あるの？

今年も、旧上庄小学校に若手芸術家がやってきました！

今回のイベントでは、今年度参加者のソニアさんと友清ちさとさんに、これまでの歩みや作品について語っていただくアーティスト・トークを開催します。

さらに、日本で最も早い時期から芸術家の滞在制作プログラム（アーティスト・イン・レジデンス）を開始した茨城県のアーカスプロジェクトから、コーディネーターの藤本裕美子さんと恩田真樹子さんをスペシャル・スピーカーとしてお招きし、地域と一緒に歩いていくアート活動についてお話していただきます。

## 【会場】

みやま市立旧上庄小学校 ランチルーム

（みやま市瀬高町上庄1259）

## 【日程】

10月29日（日） 10:00～12:00

10:00～11:00 ソニアさんと友清さんによる

アーティスト・トーク

… これまでの歩みや作品について自己紹介

11:10～11:50 アーカスプロジェクトによるアート談義

… 地域と芸術のかかわりについてお話しいただきます

トークの合間には、皆さんからの質問タイムも設けます！

普段、感じているアートに対する疑問、ぜひぜひ尋ねてみてください♪

## 【参加料】 無料（事前申し込み不要）

■お問合せ：九州芸文館美術展実行委員会事務局

☎ 092-643-3383（福岡県文化振興課 池田）

080-9266-9366（現地スタッフ 羽鳥）

福岡県では、2022年度から、文化芸術の分野で、夢に向かってチャレンジする若者を応援するため、国内外での活躍を目指す高い志を持った若手芸術家の活動を支援する「新進気鋭芸術家育成事業」に取り組んでいます。

2020年に閉校となった旧上庄小学校の校舎の一部をお借りし、若手芸術家の創作活動の場（スタジオ）として活用しています。校舎内には、若手芸術家と談話できる交流スペースもありますので、ぜひお気軽にご来場ください。

## 《今年度の参加芸術家》

### ■ Sonia Cheung (ソニア・チョン)



香港出身、福津市在住。香港バプテスト大学ビジュアルアーツ学部卒業。人間や都市の移り変わり通じた孤立や記憶、変容、それに伴う破壊をテーマに、映像とインスタレーションによる作品を制作。

4年前に福岡に移住してからは、福岡と香港を拠点に活動しており、これまでに福岡と香港のほか、東京や大分、ニューヨークでも個展やグループ展を開催。



《星に向かって2インチ近づいて》  
(2018)

### ■ 友清 ちさと



福津市出身、ドイツ在住。東京藝術大学大学院美術研究科を修了。社会通念上の課題や当事者性に焦点を当て、共同制作やインスタレーションを制作。

現在は、ドイツを拠点に、精神医療施設内の美術館でアートを通じた患者のケアや、自給自足の生活を営むコミュニティに滞在しながら、活動を続ける。これまで福岡やドイツで展覧会を開催。



「オレンジの皮を飾る -ドイツ・北西部車村便り-」の展示風景より  
(PLAN406 (福岡市), 2022)

## 《今回のスペシャル・スピーカー》

### ■ アーカスプロジェクト



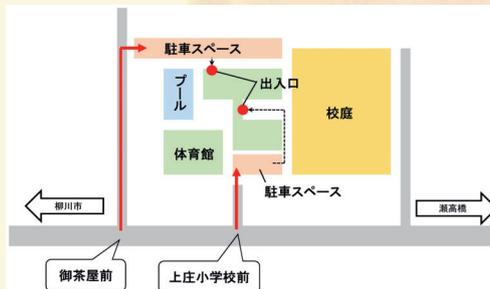
活動拠点の旧小学校校舎（アーカススタジオ）

茨城県守谷市の旧小学校校舎を拠点に、茨城県等が主催し「芸術を通じた地域づくり」を推進する芸術文化事業。

1994年、日本では当時あまり知られていなかった「芸術家の滞在制作プログラム（アーティスト・イン・レジデンス：AIR）」を開始。県民に芸術家との交流や創作体験の機会を提供し、専門家のみならず地域住民の関心と呼ぶ。以降、30年近くにわたって様々なプログラムを通じて地域と芸術を繋ぎ、国内のみならず海外からも高い評価を受ける。なお、AIR参加者の公募には、毎年、世界中の芸術家から数百件にも及ぶ応募がある。

### ■ 交通情報

- ・「御茶屋前」または「上庄小学校前」の交差点から進入し、駐車スペースに停車してください。
- ・駐車スペースには限りがありますので（計20台程度）、ご注意ください。



～みなさまのご来場、  
お待ちしております～